

キャラクター名  
小山内 遥香

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ブラックドッグ		ワークス	高校生	カヴァー	女
	ソラリス			年齢	17	
オプション	素体	衝動	妄想	初期侵食率	30	%
出自		経験		邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	3	1	0			4	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	3	0	0			3	戦闘移動	12
社会	0	0	1			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
データブレイン					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
奇妙な隣人	P	N			
Eロイス:無限を継ぐもの	P	N			
Eロイス:ありえざる存在	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ハードワイヤード	1	(4)	常時	至近	自身	自動		
効果: ブラックドッグ専用アイテムをLv1個常備化できる								
オリジン:サイバー	1	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果: シーン中、【社会】の達成値+[Lv*2]する								
能力強奪	1	-	メジャー	至近	単体	RC	エネミー	
効果: RCでの対決に勝利した場合、対象の持つエフェクト一つを奪う								
通信支配	1		メジャー	視界	シーン	-	エネミー	
効果: そのシナリオではこのエネミーが指定した通信手段以外は使用できない								
落ちる絶望	1	4d10	メジャー	視界	シーン(選択)	RC	120	
効果: 対象はオーヴァードに覚醒する可能性がある								
イージーフェイカー:???	★							
効果: 複数のイージーエフェクトを模倣している								
人間発電機	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

加莉達の通う高校に通う、一つ上の女子高生。愛葉が新入生の中で一躍有名になったアイドルだとすれば、彼女は2~3年生のマドンナという立ち位置である(播磨談)。目じりが下がった笑んでいるようなデフォルトの表情と同じく、性格はシュークリームのように甘い。ただし、その甘さのせいか男子生徒に詰め寄られるとどうすればいいのかわからなくなってしまうなど、毅然として断れない一面も。愛葉にも初対面の時から優しくだったが、一方で恋愛面での知識が加莉以上になく、恋愛面の助けにはなれなかった。ただし、一度興味を持ったジャンルに没頭する癖があるにも関わらず恋愛には全く没頭しなかったことから、一貫して恋や愛に対する興味が絶無その正体は一年前に愛葉花恋と一番親しかったオーヴァードであり、SpiCaと共存して『ナンセンス』として振舞っていたジャームである。彼女は実のところ愛葉以外の物に殆ど興味がなく、性格の甘さも『誰に対しても同じ甘さ』という既製品を売りつけるような優しさ。本性は冷酷・冷酷で、愛葉のためなら自分以外の誰も犠牲に出来ると考える異常者だった。その冷酷さ・無関心の原因は一年ほど前から発症し始めた『無感覚症候群』にある。彼女は時折頭痛に襲われ、一時的に体の感覚がマヒしたかのように喪失してしまう症状に悩まされていた。条件は不明だが、能力を使うほど進行するようだ。そのせいか小山内は『感覚は世界に触れるための窓』という概念を信じられず、他人との関わりを必要以上に持つことに興味を失っていた。他人も必要以上に近づいてこない小山内を遠ざけていた節がある。しかし、愛葉だけはそれを無視して小山内へと接近し、小山内もまた愛葉が自分の行動を見て学んでいることを知ってからは積極的に感情を表すようになる。こうして、愛葉と小山内は親密になっていった。しかし不幸にも愛葉は記憶を失ってしまう。記憶喪失になった愛葉を助けるため、彼女はジャームへと身を落としていった。

『クオリア』——感覚を奪う能力。他人から感覚を奪い、管理することが出来る。奪った能力を一時的に返還し、必要になったときにだけ利用することも出来る。ただし使用するほどに頭痛が起き、自分の感覚を失っていく。発現した際の願いは『感覚を失くしたくない』 一見、無感覚を受け入れている小山内が一番完全に感覚を失くしてしまうことを恐れていた。常に世界を感じられるとは限らないからこそ、真に大切だと思った物に対して貪欲に、真摯に、純粋に向き合おうとする。それでも、もし感覚を失うことがなければ、彼女は普通の子高生だったはずなのだ。

『センサー』——電気・磁気・赤外線などの不可視のものを線として視認する能力。線を集めることで太くし、時間をかければ強力な電撃を放つことも出来る。S